

# 特別支援教室

巡回校：府中第七小学校  
本宿小学校

令和6年 9月30日 No.6

武蔵台小学校

府中市立武蔵台小学校

拠点校校長 山中 慈子

担当：

# ひばり



直通電話 090-8344-7684

2学期が始まって1か月が経ち、子供たちも学校生活のリズムを取り戻してきています。1学期に比べて成長している様子が見られるのと同時に、新たな課題が見られることもありました。引き続き、ご家庭、学校、「ひばり」の三者で情報共有し、連携をより密にしてお子さんのより良い成長を支援していきます。



## ☆10月の学習予定について

低・中学年	個別指導	実態に応じた課題、日常生活の様子を話す・書く、めあての確認・振り返り
	小集団指導	ひばりすごろく、協力コップタワー、言葉で伝えよう、協力お届け便、背中のはなあに
中・高学年	個別指導	実態に応じた課題、日常生活の様子を話す・書く、めあての確認・振り返り
	小集団指導	ひばりすごろく、言葉で伝えよう、アサーション、多数派の意見は?、〇〇バスケット

## ☆個別指導の参観について

2学期(10月)は、個別指導の保護者参観を行います。ご希望の方はひばりの連絡ノートでお知らせください。希望日を第3希望までお知らせください。参観の仕方や日程については、担当教員よりご連絡いたします。



## ☆9月の指導より

### 〇話を聞いて答えよう〇×クイズ（低・中・高学年グループ）

夏休みの出来事についてスピーチしました。その中から〇×クイズを出題したり、自分が知りたいことを質問したりしました。話を聞くときのめあては“話を最後まで聞くこと”です。話している人の方を向く、〇の声（声を出さない）で聞く、正しい姿勢などを意識させました。また、問題を作るときは、“話を聞けば答えが分かる”というポイントに気を付けさせました。クイズ本番では、どの子も話をよく聞いて問題に答えることができました。



### 〇どんな感じ？ブラックボックスクイズ（低・中学年グループ）

紙やすり、スポンジ、毛糸、たわし、しゃもじなど、具体物を使って実際に手で触って感じたことを言葉にする「どんな感じ」という学習をしました。

例えば、たわしを触ると、「ざらざら」「ちくちく」と一人一人が感じた手触りを表す言葉が出ました。同じものを触っても人によって感じ方が違うことも伝えました。

また、いろいろな触感が混ざっているしゃもじを触った時は、持つ柄の部分に触り「ここ（柄の部分）はつるつる」「こっち（ご飯をすくう部分）は、ざらざら」と、子供によって着目する部分が違っていました。それぞれ言葉にできたことを褒めました。次の週には、この学習で出てきた触感を表す言葉を使って、箱の中に入っているものが何か当てる「ブラックボックスクイズ」を行いました。子供たちはクイズが大好きなので、楽しみながら学習ができました。



## ほめる

8月下旬に、家庭と子供の支援員スーパーバイザーの田上美恵子先生をお招きして、教員研修を行いました。「効果的な褒め方」というテーマでお話をさせていただきました。その中の一部をご紹介します。

### 〇褒めるタイミング

- ・行動に取りかかる前・・・「えらい、〇〇やろうとしているね。」
- ・行動を始めたとき・・・「そう、その調子。」「そのまま続けて。」
- ・行動に取り組んでいるとき・・・「ここまでできたね。」「あと少しだよ。」
- ・行動を終えたとき・・・「全部できたね。」「最後までやり遂げたね。」



他にも、当たり前を褒める（あいさつができた、宿題を忘れなかった など）、ハードルは低くこまめに褒める、（大人が）手伝ってできたことを褒めるなど、褒めるタイミングや褒め方はたくさんあることを教えていただきました。

大人でも褒められれば嬉しいですね。ご家庭でのお子さんとの関わりの中で、田上先生のお話が参考になれば幸いです。